

本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。


記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。


このたびは弊社製品をお買い上げくださいます。誠にありがとうございます。未長くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱いいただきますようお願いいたします。なお、この取扱説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。

安全上のご注意




絵表示について

この注意書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するため、色々な絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

 **注意** この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う危険が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

-  △記号は「気をつけるべきこと」(注意)を意味しています。(左の例は感電注意)
-  ⊘記号は「してはいけないこと」(禁止)を意味しています。(左の例は分解禁止)
-  ●記号は「しなければならないこと」(強制)を意味しています。(左の例は電源プラグをコンセントから抜く)

警告

本機をスキューバダイビング(アクアラング)に使用しないでください。
※ 本機はダイバーズウォッチではありません。誤って使用すると、事故の原因となります。



電池の取り扱いについて

本機で使用しているボタン電池を取り外した場合は、誤ってボタン電池を飲むことがないようにしてください。特に小さなお子様にご注意ください。

電池は小さなお子様の手の届かない所へ置いてください。万一、お子様が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

注意

かぶれについて

時計の本体およびバンドは、直接肌に接触していますので、使用状態によってはかぶれを起こす恐れがあります。

- ① 金属・皮革に対するアレルギー
- ② 時計の本体およびバンドの汚れ・サビ・汗等
- ③ 体調不良等
- バンドをきつくしめると、汗をかきやすくなり、空気の通りが悪くなりますのでかぶれ易くなります。バンドは余裕をもたせてご使用ください。
- 「抗菌防臭バンド」は汗などによる細菌の繁殖を抑え、においの発生を防ぐもので、皮膚のかぶれを防ぐものではありません。
- 万一、異常が生じた場合は、ご使用を中止し、医師にご相談ください。

お手入れについて

ケース・バンドは汚れからサビが発生し、衣服の袖口を汚すことがあります。ケース・バンドは常に清潔にしてご使用ください。特に、海水に浸した後放置しておくともサビ易くなります。

ご使用にあたって

時計表示の確認は、思わぬ転倒やケガの予防のため、十分に安全が確認された場所で行なってください。特に、道路でのマラソンやジョギング、自転車やバイク・自動車等の運転中は事故の原因になることがありますので、十分にご注意ください。また、第三者への接触による事故防止にも十分にご注意ください。

時計が止まった場合は、速やかに電池を交換してください。

時計着脱の際に、中留で爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。特に、長く伸ばした爪では、中留の操作はおやめください。

思わぬケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、就寝時は時計をはずすなど十分にご注意ください。

幼児を抱いたり、接したりする場合は、幼児のケガやアレルギーによるかぶれを防ぐため、時計をはずすなど十分にご注意ください。

分解しないでください

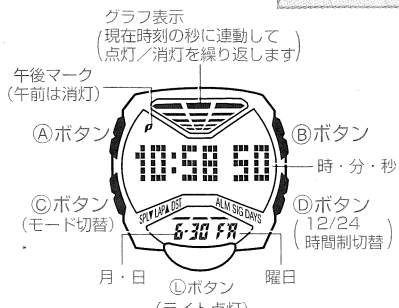
本機を分解しないでください。ケガをしたり、本機が故障する原因となることがあります。



操作のしくみと表示の見方

◎ ボタンを押すごとに確認音が鳴り、以下の順でモードが切り替わります。

時刻・カレンダーモード

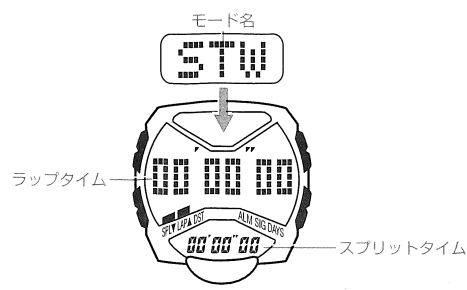


★ 12/24 時間制表示切替について
時刻・カレンダーモードで、(D) ボタンを押すごとに 12 時間制表示 (午前/午後 "P") と 24 時間制表示とが切り替わります。

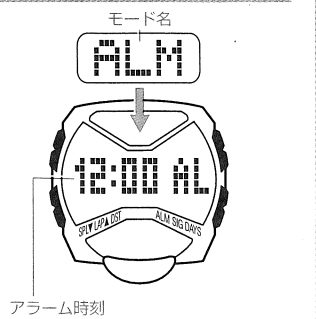
★ 曜日の見方

SU:日 MO:月 TU:火 WE:水
TH:木 FR:金 SA:土

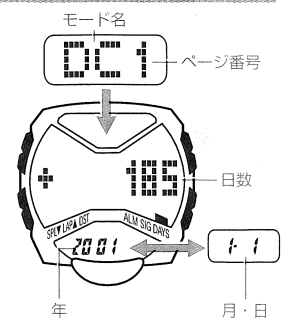
ストップウォッチモード



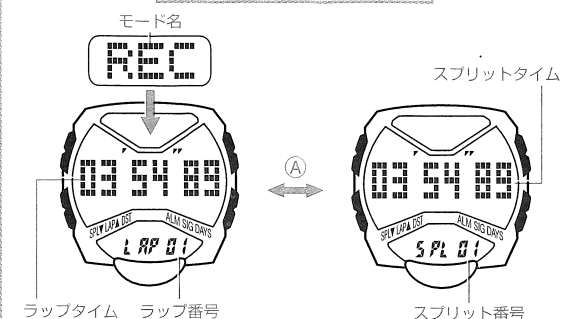
アラームモード



デカウンターモード



リコールモード

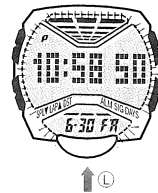


ライト点灯について

どのモードのときでも、(E) ボタンを 1 回押すと文字板が約 2 秒間発光します。

<ご注意>

- 直射日光下では、発光が見えにくくなります。
- 発光中に (E) ボタン以外のいずれかのボタンを押したり、アラームなどが鳴り出すと発光を中断します。
- 発光中に時計本体より音が聞こえることがありますが、これは EL パネルが点灯する際の振動音であり、異常ではありません。



製品仕様

水晶発振周波数: 32,768Hz
 精度: 平均月差 ± 15 秒以内
 基本機能: 時・分・秒、午前/午後 (P) / 24 時間制表示、月・日・曜日、フルオートカレンダー (2000~2039年)
 ストップウォッチ機能: 計測単位 = 1/100 秒 (00 分 00 秒 00 ~ 59 分 59 秒 99 のとき) 1 秒 (1 時間 00 分 00 秒 ~ 23 時間 59 分 59 秒 のとき)
 計測範囲 = 23 時間 59 分 59 秒 (24 時間計)
 ラップ/スプリット = 1 ~ 99 回
 計測機能 = 通常計測、積算計測、ラップ/スプリット計測、ラップ/スプリットタイムメモリー (11 本まで)
 デカウンター機能: 設定日メモリー数 = 10 本 設定範囲 = 1940 ~ 2039 年 今日から設定日までの日数を表示
 「月・日」一致報知機能
 アラーム機能: 時刻アラーム セット単位 = 分 電子音 = 20 秒間 時報 毎正時に 2 回電子音で報時
 その他: 自動復帰機能、12/24 時間制表示切替、サマータイム設定機能、イージーアジャスト機能、EL (エレクトロルミネッセンス) バックライト
 主要回路素子: 音叉型高性能水晶振動子 ワンチップ CMOS-LSI
 使用電池: CR-1616 (電池別途販売)
 電池寿命: 約 2 年 (1 日あたりライト 2 秒間、電子音を 20 秒間使用した場合)

時刻・カレンダーの合わせ方

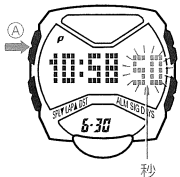
電池交換後などで時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

■ 時刻・カレンダーの合わせ方

(1) セット状態にする

時刻・カレンダーモードのとき、(A) ボタンを約 2 秒間押します

→ 「秒」が点滅します。

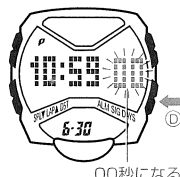


(2) 秒合わせ...30 秒以内の遅れ/進みの修正

時報に合わせて (D) ボタンを押します

→ 「00 秒」からスタートします。

※ 秒が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 分繰り上がって 「00 秒」 になります (時報は「時報サービス 117 番」が便利です)。



(3) サマータイム (DST) * の ON / OFF を選ぶ

(C) ボタンを押します

→ 「ON」または「OFF」が点滅します。



(D) ボタンを押します

→ サマータイムの ON / OFF が切り替わります。

※ 「OFF」 = サマータイム OFF (通常時間)

※ 「ON」 = サマータイム ON (夏時間)

※ サマータイムを ON にすると通常の時刻より 1 時間早まります。

* サマータイムとは DST (Daylight Saving Time) とも言い、通常の時刻から 1 時間進める夏時間制度のことです。サマータイムの採用時期は国や地域により異なりますし、採用していないところもありますのでご使用の際には十分にご注意ください。

※ サマータイムを ON にすると、時刻・カレンダーモード、アラームモード、デカウンターモードで DST マークが点灯します。(右図)

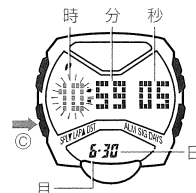
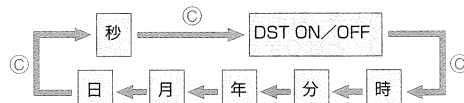


<時刻・カレンダーモード>

(4) 「時刻・カレンダー」合わせ

a. (C) ボタンを押します

→ (C) ボタンを押すごとに点滅箇所が以下の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



b. (D) ボタンを押します

→ (D) ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。

※ 押し続けると早送ります。



a. ~ b. の操作を繰り返して、「時刻・カレンダー」を合わせます。

※ 「時」のセットのとき午前/午後 (P)、または 24 時間制にご注意ください。

※ 「年」は 2000 ~ 2039 年の範囲内でセットできます。正しくセットすると、自動的に曜日が出されます。なお、カレンダーはうるう年および大の月、小の月を自動判別するフルオートカレンダーですので、電池交換時以外の修正は不要です。

(5) セットを終わる

(A) ボタンを押します

→ 点滅が止まり、セット完了です。

※ 点滅表示のまま 2 ~ 3 分間すると、自動的に点滅が止まります。

● 時報に合わせて時刻をセットする

30 分以内の遅れ/進みの修正の場合、テレビやラジオの時報に合わせて簡単に時刻をセットすることができます。(イージーアジャスト機能)

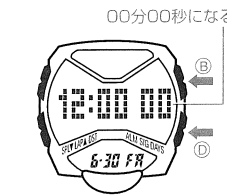
(1) 時刻・カレンダーモードのとき、時報の数秒前から (E) ボタンを押したまま時報を待ちます。

(2) 時報に合わせて (E) ボタンも押し続けます。

→ 確認音が鳴り、「00 分 00 秒」からスタートします (確認音が鳴ってからボタンを離してください)。

※ 分が 00 ~ 29 のときは切り捨てられ、30 ~ 59 のときは 1 時間繰り上がって 「00 分 00 秒」 になります。

※ 確認音は時報よりもやや遅れて聞こえますが、時刻は正しくセットされています。



ストップウォッチの使い方

■ 特長

本機のストップウォッチは、1/100秒単位（1時間以上になると1秒単位）で23時間59分59秒（24時間計）まで計測できます。計測範囲を超えると、自動的に0に戻って計測し続けます。
また、ラップ/スプリット計測を行なうとそのときのタイムを最大11本まで記憶し、記憶したタイムはリコールモードで簡単に見ることができます。

● ラップタイムとは…

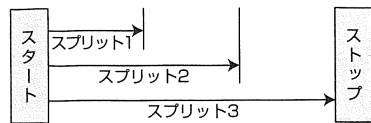
任意の区間（周回競技では1周分）を進むのに要する時間のことです。
例：陸上、モータースポーツなどの周回競技での1周あたりのタイム。



計測範囲…ラップタイム（上段に表示）=23時間59分59秒（24時間計）
ラップ数=1～99回（99を超えると00表示に戻ります）

● スプリットタイムとは…

スタート地点から任意の地点までの経過時間のことです。
例：マラソンの10km地点まで走ったときのタイム。



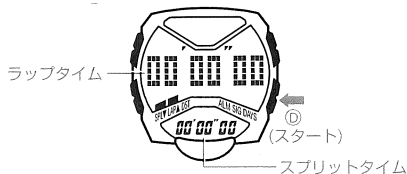
計測範囲…スプリットタイム（下段に表示）=23時間59分59秒（24時間計）
スプリット数=1～99回（99を超えると00表示に戻ります）

■ ストップウォッチ計測のしかた

計測開始

① ボタンを押します

⇒ストップウォッチモードのとき、①ボタンを押すと計測がスタートします。



ラップ/スプリットタイム計測

② ボタンを押します

⇒②ボタンを押したときのタイムを7～8秒間表示し、記憶します（内部では計測を続けています）。以後、②ボタンを押すごとにラップ/スプリットタイムを計測・記憶していきます。

※計測値が1時間以上になると、表示単位が「時・分・秒」になり、1秒単位で計測を行ないません。



計測終了

③ ボタンを押します

⇒計測がストップします。

※計測値を0に戻すには、計測終了後に③ボタンを押します（このとき、計測終了時のラップ/スプリットタイムを記憶します）。



■ 計測時のボタン操作について

● 通常計測



※積算計測…ロスタイムのある場合は、ストップ後リセットせずに①ボタンを押して再スタートすれば表示タイムに引き続き計測を始めます。

● ラップ/スプリット計測



※計測中に②ボタンを押してリコールモードに切り替え、メモリーしたタイムを見ることができます。（「計測したデータを見る」参照）

■ ラップ/スプリットタイムのメモリーについて

本機では、ラップ/スプリットタイムを最大11本まで記憶でき、記憶したタイムはリコールモードで見ることができます。

※記憶できるのは、計測開始後10本までのタイムと計測終了時のタイムとなります。11本目から計測終了前までのラップ/スプリットタイムは記憶されません。

※計測値を0に戻してから、新しい計測を始めると、前回記憶したタイムはすべて消去されます。

■ 計測したデータを見る

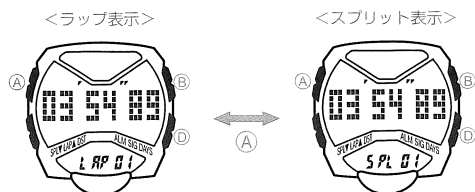
準備：時刻・カレンダーモードのとき、④ボタンを2回押してリコールモードにします。

● 表示を選ぶ

リコールモードのとき、④ボタンを押します

⇒④ボタンを押すごとに<ラップ表示>と<スプリット表示>とが切り替わります。

※リコールモードに切り替えた直後は、ラップ番号1のタイムが表示されます。



● データを見る

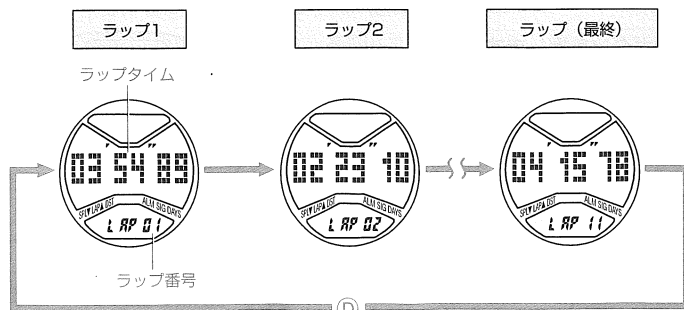
表示を選びましたら、⑤または⑥ボタンを押します

⇒⑤ボタンを押すごとに順番にタイムを表示し、⑥ボタンを押すごとに戻ります。

※リコールモードで見ることができるのは、ストップウォッチ計測中にラップ/スプリット計測または計測終了の操作を行なったタイムのみ（最大11本）となります。

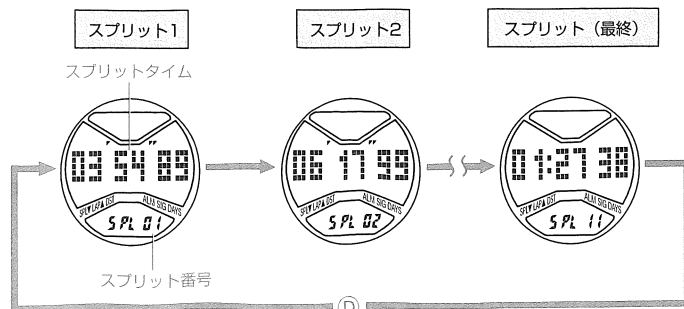
※ラップ/スプリット数が9本以下のとき、計測されていないラップ/スプリット数の表示は“00' 00" 00”となります。

<ラップ表示>



※⑥ボタンを押すと表示が戻ります。

<スプリット表示>



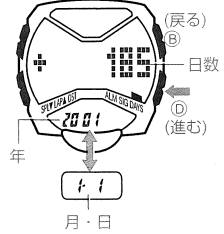
※⑥ボタンを押すと表示が戻ります。

デイカウンター の 使い方

デイカウンターモードでは、今日から設定日までの日数を自動的に計算して表示します。(メモリー 10本)
デイカウンターモードに切り替えると、前回このモードで最後に見たデータを表示します。
● 未来の予定日などを設定…今日からの残日数を+ (プラス) で表示
● 過去の記念日などを設定…今日までの経過日数を- (マイナス) で表示
※工場出荷時は、"2001年1月1日" であらかじめ10本ともメモリーされています。

■ メモリーを見る

デイカウンターモードのとき、**⑩** または **⑨** ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとにページが順番に進み、**⑨** ボタンを押すごとに戻ります。
※ページを切り替えると、モード名とページ番号を表示します。
※1秒ごとに「年」と「月・日」の表示が切り替わります。

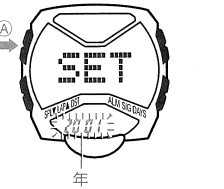


■ 設定日のセット

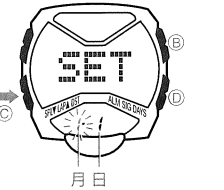
(1) セットしたいページを選びます
デイカウンターモードのとき、**⑩** または **⑨** ボタンを押します
→ **⑩** または **⑨** ボタンを押すごとにページが切り替わりますので、セットしたいページを選びます。



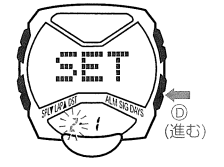
(2) セット状態にする
⑨ ボタンを約2秒間押します
→ 設定日の「年」が点滅します。



(3) セット箇所を選ぶ
⑩ ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所が「年→月→日→年…」の順で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。
※表示が点滅しているときに**⑩** ボタンと**⑨** ボタンを同時に押しすと、「CLR」と表示されて、今日の日付がセットされます。



(4) 点滅箇所のセット
⑩ ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。



(3)~(4)の操作を繰り返して、「設定日」をセットします。

※「年」は1940~2039年の範囲内でセットできます。

(5) セットを終わる
⑨ ボタンを押します
→ 点滅が止まり、セット完了です。
※セットが終わると、今日から設定日までの日数を自動的に計算して表示します。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ 設定した「月・日」になると

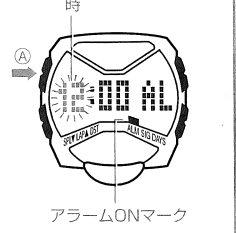
設定した「月・日」になると、時刻・カレンダーモード、デイカウンターモードの該当ページで DAYS マークが点滅して知らせてくれます。
<時刻・カレンダーモード>

アラーム・時報の 使い方

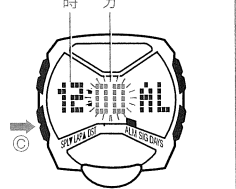
アラームは分単位でセットでき、セットした時刻になると20秒間の電子音が鳴ります。また、毎正時(00分)に時報を鳴らすこともできます。

■ アラーム時刻のセット

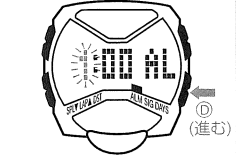
(1) セット状態にする
アラームモードのとき、**⑨** ボタンを約2秒間押します
→ アラーム時刻の「時」が点滅します。
※このとき、アラームが自動的にONになり、アラーム ON マークが点灯します。



(2) セット箇所を選ぶ
⑩ ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所が「時」⇄「分」で移動しますので、合わせたい箇所を点滅させます。



(3) 点滅箇所のセット
⑩ ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとに点滅箇所の数字が進みます。
※押し続けると早送りします。



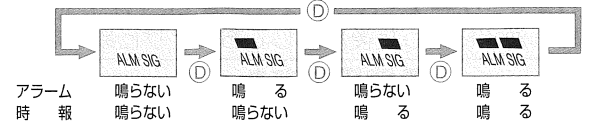
(2)~(3)の操作を繰り返して、「アラーム時刻」をセットします。

※「時」のセットのとき午前/午後(P)、または24時間制にご注意ください。
※基本時刻を24時間制にしているときは、アラーム時刻も自動的に24時間制で表示されます。

(4) セットを終わる
⑨ ボタンを押します
→ 点滅が止まり、セット完了です。
※点滅表示のまま2~3分間すると、自動的に点滅が止まります。

■ アラーム・時報の ON / OFF 設定

アラームモードのとき、**⑩** ボタンを押します
→ **⑩** ボタンを押すごとに、アラームONマークと時報ONマークが点灯/消灯を繰り返します。それぞれのマークが点灯しているときがONとなり、アラーム・時報が鳴ります。



■ 鳴っているアラーム音を止めるには

いずれかのボタンを押します。

■ モニターアラーム

アラームモードのとき、**⑩** ボタンを約2秒間押し続けると、押し続けている間、アラーム音が鳴ります。

ご使用上の注意

防水性 ● 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されているもの。

	BAR無し	5BAR	10BAR	20BAR
洗顔、雨	○	○	○	○
水仕事、水泳	×	○	○	○
ウインドサーフィン	×	×	○	○
スキンドайビング(素潜り)	×	×	○	○

- ※ BAR は気圧の意味で、防水性の高さを表わします。
 - ※ 専門的な潜水=スキューバダイビング (アqualang) での使用はお避けください。
 - 表面または裏蓋に WATER RESIST または WATER RESISTANT と表示されていないもの、防汗構造になっておりませんので、多量の汗を発する場合、もしくは湿気の高い場所での使用や直接水に触れるようなご使用はお避けください。
 - 防水構造の機種でも、水中でのボタン操作は行なわないでください。
 - 防水構造の機種はシャワー程度の温水では使用できますが、入浴等で長時間使用することはお避けください。
 - 海水に浸したときは真水で洗い、塩分や汚れをふきとってください。
 - 防水性を保つために定期的 (2~3年を目安) なバッキング交換をおすすめします。
 - 電池交換の際、防水検査を行ないますので、必ずお買い上げの店あるいは最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。(特殊な治具を必要とします)
 - 防水時計の一部にデザイン上皮バンドを使用しているモデルがありますが、皮バンド付の状態、水仕事、水泳など直接水のかかるご使用はお避けください。
- バンド ● バンドは指一本が入る程度の余裕をもたせてご使用ください。
● 樹脂バンドも皮バンド同様、日々の使用により劣化し、切れたり折れたりする場合があります。バンドにヒビなどの異常がある場合は、必ず新しいバンドと交換してください。そのときは、お買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにバンド交換をお申し付けください。保証期間内であっても実費にて申し受けます。
● 樹脂バンドの表面にシミ状の模様が発生することがありますが、人体および衣服への影響はありません。また、布等で簡単にふきとることができます。
- 温度 ● 自動車のダッシュボード等の高温になる所に放置しないでください。また、寒い所に長く放置しないでください。遅れ、進みが生じたり止ったりすることがあります。
● +60°C以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。
- ショック ● 腕につけたままでモトクロス、チェーンソー、削岩機などの強い振動を受けても時計には影響ありません。
● 腕につけたままで激しいスポーツなどでのショックが加わっても時計には影響ありません。
- 磁気 ● 磁気の影響はありません。
- 薬品類 ● 水銀や化学薬品 (シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類) が付着すると、ケース、バンドなどに変色や破損を生ずることがありますのでご注意ください。
- 保管 ● 長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふきとり、高温、多湿の場所を避けて保管してください。

■ お手入れについて
お手入れの ● 時計も衣服同様、直接身につけるものです。本体ケースやバンドの汚れ、汗・水分などは、吸湿性のよい柔らかい布でふきとり、常に清潔にご使用ください。
しかた ● 金属バンドは、時々、部分洗いをすることをおすすめします。部分洗いの際、時計本体に水がかからないようにしてください。非防水時計の場合は故障の原因となり、また防水時計でも石けん水により防水性が損われることがあります。

お手入れを ● 「サビ」
怠ると ● ステンレススチールはサビにくい性質ですが、汚れによりサビが発生します。
※ 汚れにより酸素が断られると、表面の酸化被膜が維持できなくなり、サビが発生します。
● 表面はきれいでも、すきまに付着した汚れやサビがしみ出して、衣類の袖を汚すことがあります。
● 「劣化」
● 樹脂バンドは汗などの水分で濡れたままにしておいたり、湿気の高い場所に保管すると、劣化が早くなり、切れたり、折れたりすることがあります。
● 「かぶれ」
● 皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。
● 万一、かぶれた場合には、そのバンドの着用を中止し、皮膚科の専門医にご相談ください。
● 特に、皮バンドや樹脂バンドをお使いの方は、こまめにお手入れするか、金属バンドのご使用をおすすめします。

■ 蛍光商品のお取り扱いについて
蛍光部品のケース/バンドを使用しているものは、以下の点にご注意ください。
● 長時間、直射日光に当てると、色あせる場合があります。
● 長時間、濡れたままにしておくとき色が落ちるおそれがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとって、乾かしてください。
● 長時間、他の商品と密着させたり、濡れたまま他の商品と一緒にしておくとき、他の商品に色が移行することがありますので、濡れているときはすぐに水分をふきとり、密着保存を避けてください。
● プリントがしている場合は、プリント部分を強くこすると他の部分に色がつくことがあります。

■ 塗装商品のお取り扱いについて
塗装部品を使用しているものは、以下の点にご注意ください。
● 塗装部品は使用状況 (過度の外力、連続したこすれ、衝撃等) により磨耗したり、色落ちすることがあります。
● 塗装部品の交換は、最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ 電池交換について
最初の電池 ● 工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。
※ モニター用電池とは時計の機能や性能をチェックするための電池のことで、時計本体価格に電池代は含まれておりません。
※ なお電池交換の場合は保証期間内でも有料となります。
消耗 ● 電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立った」「表示が見にくくなった」「消えたり」します。
● 消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。
電池交換 ● 電池交換は必ずお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションにお申し付けください。
● 電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用すると故障の原因となる場合があります。
● 電池交換の際、防水検査を行ないます。(防水検査は別途有料となります)

■ 液晶パネルの交換について
液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。そのときはお買い上げ店またはカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。

■ EL パネル (表示照明部) の交換について
表示照明用として本機に使用している EL パネル (エレクトロルミネッセンスパネル) は、長期間使用しますと明るさが弱くなり、光が暗く見える場合があります。このようなときにはお買い上げ店または最寄りのカシオテクノ・サービスステーションに交換をお申し付けください。実費にて申し受けます。